

# 令和2年度一般財団法人山梨県地場産業センター事業計画書

## 事業計画

### 基本方針

中期経営計画(平成30年度～令和4年度)の3年目となる本年は、翌年の「信玄公誕生500年」(2021年)・甲斐善光寺の御開帳など実需の期待できる大型イベントへ続く年となることから中期経営計画に則り、来館者のニーズにあった売場づくりや体制の準備を推し進めおもてなしの心構えを実践し増収を図っていきます。新型コロナウイルスの影響で、年度初めは不透明な業務運営に陥ると危惧しますが、終息に至った際には、積極的にイベントを開催するなどして売上の回復に注力していきます。

今後も消費者の消費心理の冷え込みや気候変動などの天災で、厳しい経営環境は続くものと思料するが、販売商品の展示方法・商品の品揃えなど柔軟な発想と行動力で収支の調整を図り、健全な経営を維持する努力を継続していきます。

### 事業実施計画

#### 1 商品力の強化

- 活気溢れる販売フロア(レイアウトの変更)の改革
- 新規取扱い商品の発掘により、品揃えの充実を図る
  - ・新聞掲載商品や話題性のある商品の導入に向けた商談
  - ・未扱い商品、未扱い分野の開拓
  - ・未扱い催事、話題性のある店頭販売商品の開発
- 既存商品の品揃えの見直し
  - ・取引先とのコミュニケーションを高め、「売れ筋」の商品の導入を図る
  - ・他店調査(サービスエリア、道の駅など)は継続し、商品開発に努める
- 全国センターとの連携を強化

#### 2 販売力の強化

- 誘客活動の推進
  - ・観光エージェントとの契約及び囲い込みに取り組む
  - ・やまなし観光推進機構、甲府商工会議所、山梨県中小企業団体中央会などとの連携により、観光業者訪問や商談会に積極的に参加してPR活動に努める
  - ・県内観光施設を訪問し、パンフレットの配布依頼やPRを依頼する
  - ・宝石すくい・万華鏡づくり・ネックレスづくり等体験型イベントを増やして行く
  - ・スマホ対応のホームページの作成に着手(スマホアプリの充実)
  - ・SNSの有効活用で「かいてらす」の認知度の向上を図る
  - ・ロコミ、無料通信アプリ、低料金販促ツールの開発・研究に取り組む
- 販売員教育の実施
  - ・外部セミナーや研修会への参加により、商品知識の向上を図る
  - ・各種展示会やイベントを見学する事により、接客技術やプレゼンの勉強をさせる
  - ・朝礼、昼礼を通じて、課題や目標の徹底、問題点の共通認識、意識改革などを行う

### 3 経営の健全化

- 数値実績の把握と差異対策
  - ・より詳細な月次損益の把握
  - ・実績に応じた支出管理(マイナス収益時への対応)
- 販売フロアの収益向上
  - ・ジュエリーの販売強化を図るため、レジ周りの展示品の入替や販売手数料等の見直しを実施
  - ・かいてらすセレクトコーナー(ジュエリーの販売)の有効活用で収益向上を図る
- 会議室の収益向上
  - ・空室情報の発信や利用者の事前確認など、従来のサービスは継続する
  - ・必要備品の購入による、サービスの向上を図る
  - ・消費税増税後も増税前と同一料金をアピールして、事前予約に注力し、リピーター率の向上を図っていく
  - ・大ホールの利用先を開拓し、利用率の向上を図っていく
- 将来を見据えた運営方針の検討
  - ・費用対効果を考慮した業務の見直し
    - 収支に見合った年2回の地場産業まつり運営の在り方を検討していく
    - 年間事業に対する広報を見直して、安価で効果的な媒体を検討する
  - ・センター運営に関する方向性の整理
  - ・人材育成強化と能力向上を図る